横浜市立市民病院

こころ。

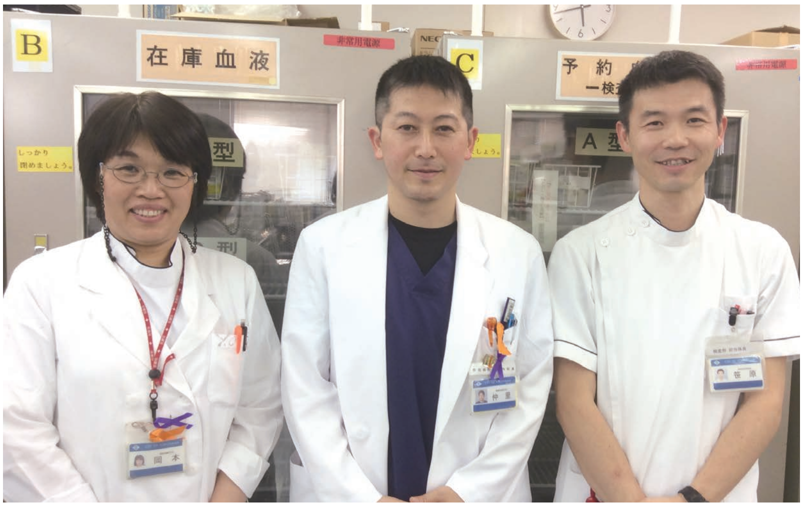
第13号
2015.6 発行

横浜市立市民病院だより

種　　名：コアラ
写真提供：公益財団法人　横浜市緑の協会

Contents

特集 輸血部紹介
● イベント紹介
● インフォメーション
● 平成 26 年度「みなさまの声」の受付報告状況
● みなさまの声
● 市民病院再整備事業
● Topics「新採用看護師の研修について」
● 登録医療機関をご紹介します
● おすすめレシピ「ゴーヤ肉詰め」
● 病院長コラム



特集 輸血部紹介

当院における輸血の安全管理と適正使用を推進する目的で、今年度から輸血部が新たな部門として設置されました。これにより院内における輸血業務の一元管理を目指しています。輸血部スタッフは、輸血部長として仲里朝周（輸血認定医、血液内科長兼任）、輸血部技師長として岡本佳子（認定輸血検査技師）、輸血部担当係長として笹原洋好（認定輸血検査技師）が拝命いたしました。堅苦しい出だしになってしまいましたが、そもそも輸血ってどうして必要なのでしょうか？輸血部って何をするところなのでしょうか？

輸血はどうして必要なの?

手術や怪我により大量に出血した患者さんや、白血病などの正常な血液が作れなくなる病気の患者さんは、人間にとって不可欠な血液の成分が不足するため、足りない分を外から補う必要があります。足りない血液の成分（赤血球、血小板、血しょうなど）を点滴で補充することを「輸血」といいます。また、血液の成分を健康なボランティアの方が無償で提供することを「献血」といいます。赤血球、血小板は輸血できますが、残念ながら白血球は重篤な副作用が出現するため輸血することができません。

病気などで輸血を必要とする人の数は年々増え、1日平均で約3，000人もの人が輸血を受けているといわれています。また、大量出血などの場合は一度に何リットルもの血液製剤が必要となることがあり、年間で約1，800万本の血液製剤が医療機関に供給されているのです。輸血はすべての診療科にかかわる重要な治療なのです。

当院では、手術件数の増加、救急患者数の増加により輸血が必要な患者数が年々増加しています。また臍帯血バンクや骨髄バンクを介した造血幹細胞移植にも力をいれており、輸血療法の重要性がより高まっています。

輸血部はどうして必要なの?

①輸血を安全に行うため

輸血には種々の副作用があり、時に命にかかわる場合もあります。例えばA型の人にB型の赤血球を誤って輸血してしまった場合（異型輸血と呼びます）、血管の中で溶血（赤血球が大量に壊れてしまうこと）がおこり、多臓器不全をきたすため死亡率は約20％といわれています。このような重篤な副作用を未然に防ぐため、輸血部による安全管理の徹底が必要なのです。当院では、異型輸血防止のため血液型確認、患者さん確認、血液製剤確認は全てダブルチェックで行い安全管理を徹底しています。

②血液製剤を適正に使用するため

わが国では日本赤十字社が血液製剤を一元管理しており、輸血感染症予防策を徹底するなど世界で最も安全性が高い血液製剤を提供しているといわれています。この輸血に必要な血液製剤はすべて善意の献血からまかなわれています。よってこの貴重な血液を無駄にしてはいけません。血液製剤は「生きた細胞」なので寿命があります。血液製剤の有効期限は、赤血球が21日間、血小板は4日間なので長期保存ができません。また、献血ドナーさんは短期間に何度も献血をすることができません。さらに献血ドナーが年々不足しており、貴重な血液製剤が有効期限切れなどで破棄されることがないよう、我々輸血部が適正使用の推進に日々努めています。

輸血部のお仕事

輸血部では、①輸血検査（血液型判定、交差適合試験など）②自己血を含む輸血用血液製剤の管理と供給 ③輸血歴の管理 ④副作用への対応 ⑤血液製剤適正使用の指導 ⑥造血幹細胞移植に関する支援業務（末梢血幹細胞保存、臍帯血保管など）を行っております。①~③については検査部の小倉謙治（認定輸血検査技師）を中心に業務を行っております。

輸血に関するこれからの課題

～献血ドナーが不足して輸血製剤が足りなくなる!～

高齢化でリスクの高い手術が多くなり輸血の需要が増える一方、善意のボランティアである献血ドナーは20歳代を中心に減少傾向にあり、２０２７年頃には約１００万人分の血液製剤が不足することが推測されています。限りある貴重な血液製剤をいかに適正に使用するかが極めて重要となり、将来の危機的状況を乗り切るために輸血部の存在意義がより高まっていくと考えられます。当院における輸血療法のさらなる発展に向けて輸血部一同全力で頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

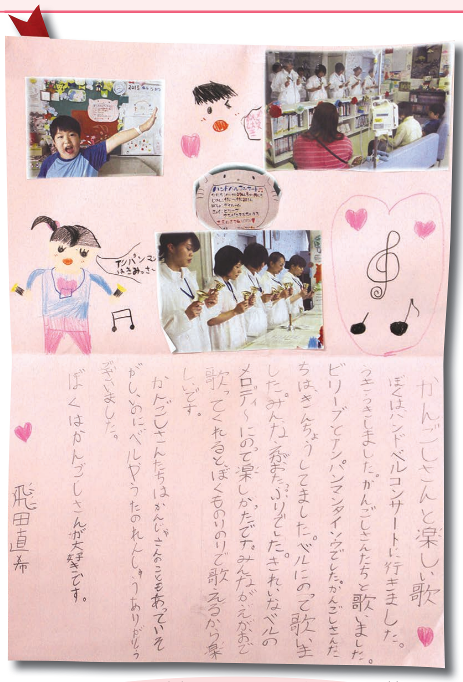
イベント紹介

～市民病院での最近の出来事や職員の院内での取組をご紹介します～

看護の日記念行事を開催しました。　5月10～16日

5月12日のフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月10～16日を「看護週間」とし、『看護の心をみんなの心に』をテーマに各地でイベントが開催されました。

市民病院では、外来ホールで看護師、ボランティアの方によるコンサートや、身体測定・生活指導などのイベント、入院患者さんにメッセージカードをお届けしました。


がんごしさんと楽しい歌
ぼくはハンドベルコンサートに行きました。
[illegible]かんごしさんたちと歌いました。
ビリーブとアンパンマンタイソウでした。かんごしさんたちはきんちょうしてました。ベルにのって歌いました。みんなおおきなふりでした。きれいなベルのメロディ～にのって楽しかったです。みんながえがおで歌ってくれるとぼくものりのりで歌えるから楽しいです。
かんごしさんたちはかんじゃさんのこともあっていそがしいのにベルやうたのれんしゅうありがとうございました。
ぼくはかんごしさんが大好きです。
飛田直希

イベントに対していただいたお礼のお手紙です。（御本人の了解済）

Information -インフォメーション-

「一日メディカルパーク 2015」を開催します。

昨年度と同様、全職員の手作りで病院を会場に、日常使用している医療機器等を用いた臨場感に富んだ医療職体験ができます。

日　時	平成27年7月25日（土） 10：00～15：00
会　場	横浜市立市民病院
対象者	小学校4年生から高校生 （小学生には引率者が必要です。）
参加人数	300人（多数の場合抽選）
受付期間	平成27年6月1日（月）～6月30日（火）※必着
申込方法	市民病院ホームページか往復はがき、メールで申込み （記載内容　①講座名、②住所、③氏名（ふりがな）、④連絡先、⑤学年）
問合せ先	E-mail：by-shiminkouza@city.yokohama.jp

前立腺がん啓発週間に、市民公開講座を開催します。

市民病院の泌尿器科医師が、前立腺がんの病気・診断・治療・検診について、わかりやすく説明します。

日　時	平成27年9月13日（日） 午前10時～午前11時30分
会　場	神奈川区民文化センターかなっくホール 横浜市神奈川区東神奈川1-10-1 ■ＪＲ東神奈川駅・京急仲木戸駅連絡橋徒歩1分 ■東急東横線東白楽駅徒歩10分
参加費	無料
定　員	300人（定員を超えた場合は抽選）

申し込み方法等は、7月下旬に市民病院ホームページでご案内します。

Yokohama Nurse

横浜市立病院（市民病院、脳卒中・神経脊椎センター）では、看護師を募集しています。詳しくは右のＱＲコードを読み取るか、

横浜市看護職員　採用　検索　でホームページをご覧ください。

※アルバイトも同時募集中。　詳しくは045-331-1961（代）

平成26年度
「みなさまの声」の受付報告状況

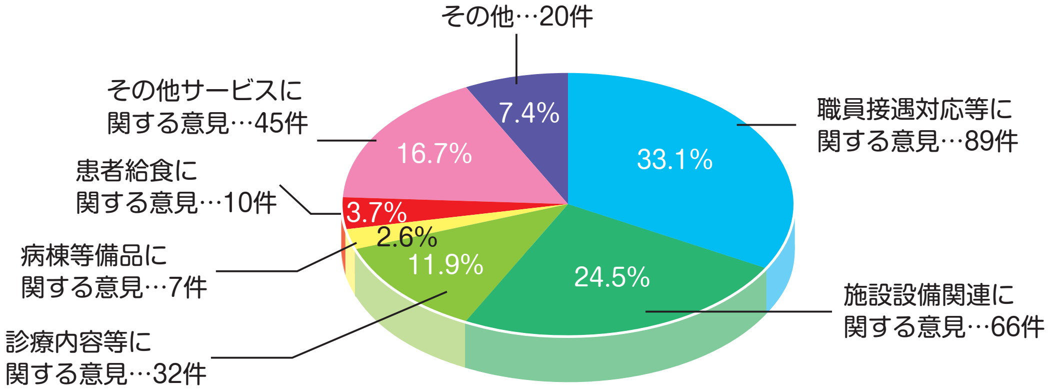
（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

患者さんやご家族からのご意見は、「みなさまの声」として、平成26年度は269件頂きました。

内訳は、以下のとおりです。

受付総数269件

●意見概要



Q 人が少ない時間に、外来1階をよく散歩しますが、前日のゴミがそのままだったり、衛生管理の徹底が見られません。

A 外来ホールは原則として、診療終了後の夜間に清掃を実施しています。
清掃を実施する時間との兼ね合いもありますが、ご指摘を受けることがないように、引き続き、清掃を徹底して参ります。

Q 診察室前に、セルフ体重計がありますが、靴を脱ぐので、靴ベラがあると便利です。

A 内科外来・消化器病センター・呼吸器内科外来などの体重計に靴ベラを設置するよう手配致しました。

Q この病院では初めての出産で緊張している中、スタッフのみなさんが親切で安心しました。
授乳のコツも細かく教えてくれて、勉強になりました。

A 日々、母子に安心を提供できるよう、丁寧なケアを心がけています。特に、当院では母乳育児に力を入れて支援しています。
今回いただきました温かいお言葉は、毎日忙しく働いている職員の励みになります。
これからも母子にとって良いケアを提供していきたいと思います。

Q 家族に対しても、もう少しやさしい対応をしてほしい。

A ご意見を、部署のスタッフで共有しました。
患者さんやご家族の立場に立った対応について努力していきます。

Q 駐車場を増やして欲しい。
また、出入り口で車底部を擦るので、改善してください。

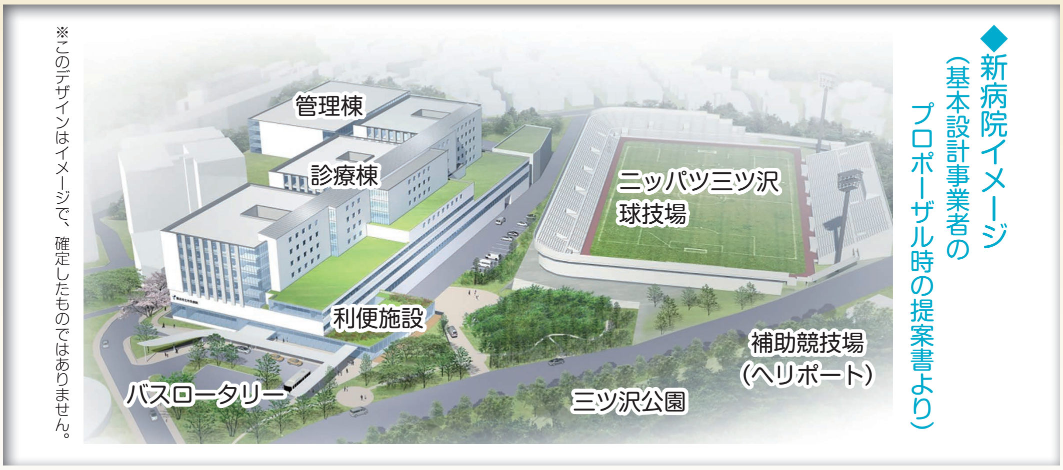
A 駐車場の待ち時間の改善には努めていますが、駐車台数を増やす方向で検討しています。
また、進入路が急坂であることは承知していますが、傾斜を緩やかにするには掘削等の大規模な工事が必要なことから、現状でご理解いただきますようお願いいたします。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。
みなさまの声をご参考に、改善に取り組みより良い病院を目指していきます。

●市民病院再整備事業の進捗報告●

三ツ沢公園との一体性

◆新病院イメージ
（基本設計事業者のプロポーザル時の提案書より）



※このデザインはイメージで、確定したものではありません。

新しい市民病院は、三ツ沢公園の一部を活用した場所への移転を計画しており、公園に隣接する利点を最大限に活かしながら整備します。

このことにより、災害時に自衛隊や消防隊などと連携した取組を行うためのスペースを確保するとともに、公園敷地を活用して設置されるヘリポートから重症患者を受入れやすくなるなど、災害拠点病院※としての診療機能を向上させます。

また再整備にあたっては、病院と公園の敷地に境目を設けず、公園利用者の方もバスロータリーへアクセスしやすくしたり、カフェやレストラン、コンビニエンスストア等の利便施設を公園に面して配置するなど、病院と公園で一体性のある開放的な空間を展開できるよう検討していきます。

※災害拠点病院…地域の医療機関を支援する機能を有する病院で、重症・重篤な傷病者を受入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院

再整備事業の進捗状況については、今後もこの「こころ」や市民病院ホームページをとおしてお知らせしていきます。ぜひご意見等をお寄せください。

● Topics ●

新採用看護師の研修について

新採用看護師が4月より64名配属されました。今年学校を卒業したばかりの看護師は、52名です。早く一人前の看護師として働けるように研修で学習しています。

▲酸素ボンベの取扱いに関する研修

▲実際に行いながら、
注射の準備について学びます。

◀病棟でも、点滴の準備を
学習します。

▲心電図の講習風景

◀参加者同士で実際に心電図をとります。

新採用看護師は、病棟に配属されてから日も浅いですが、体当たりで頑張っています。どうぞあたたかく見守ってください。

横浜市立市民病院
～患者総合サポートセンター～

登録医療機関をご紹介します

市民病院では、地域の医療機関と連携し、皆さんの医療と健康を守っています。

神奈川区　井上医院

院長　井上　肇先生（中央）とスタッフの方々

【診療科目】内科　循環器科

当院は 1997 年 9 月に開業した内科クリニックです。内科全般、循環器科に広く対応するとともに、動脈硬化の簡易検査も実施しております。

横浜市営地下鉄三ツ沢下町駅の 3 番出口右徒歩 1 分の場所にあります。また、国道沿いに駐車場がございますので、自家用車での来院も可能です。

当院の特徴として、患者様の急性期に市民病院を中心とした病院に紹介をして、紹介先の病院で治療方針決定後に当院でその内容を引き継ぐような形で治療をするようにしているところがあげられます。

優しい看護師、事務スタッフに支えられ、皆様のご来院をお待ちしています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：00	○	○	○	―	○	○	―
15：30～18：30	○	○	○	―	○	―	―

休診日：木曜日・日曜日・祝日／土曜日は午前中のみ

〒 221-0852
横浜市神奈川区三ツ沢下町 10-10
電話：045-324-2228

神奈川区　コシ産婦人科

院長　和泉　玲子先生

【診療科目】産科　婦人科

今年で開業 57 年目となります。地元に根付いた口コミでの患者さまの来院が多いと思います。

産婦人科全般、不妊症、思春期外来、骨粗しょう症、更年期障害など女性のライフスタイル全般に目を向けた診療を行っています。

診療以外にも赤ちゃん教室、育児支援教室、出生前検査、遺伝子が伝わる仕組み等、妊娠前と妊娠初期の胎児教室を実施しています。

スタッフ一同皆様のご来院を心からお待ちしています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8：30～13：00	○	○	○	○	○	8：00～12：00	―
15：00～17：00	○	16：00～17：00	○	―	16：00～17：00	―	―

完全予約制／休診日：日曜日・祝日／木曜日と土曜日は午前中のみ

〒 211-0065
横浜市神奈川区白楽 71-8
電話：045-432-2525
URL：http://www.koshi-sanfujinka.com/

夏のお勧めレシピ

ゴーヤー肉詰め

どんどん育つ夏野菜
毎日おいしく食べたい！

〔1人当たり栄養量：熱量165kcal、タンパク質11g、脂質9g、塩分1g〕

〔材料〕2人分

ゴーヤー	170g(長さ10cmくらい、正味130g)。
A（肉だね）	合いびき肉90g、玉ねぎ30g、パン粉6g(大さじ1.5杯)、鶏卵15g、炒め油少々。
B（調味料）	醤油小さじ2杯、みりん小さじ2杯、焼き油小さじ1杯。でんぷん(片栗粉)少々。

(付け合せ：ミニトマト)

〔作り方〕

①ゴーヤーを1cm幅の輪切りにして、中の種を除き輪状にする。(厚いと火が通りにくい)
②Aの玉ねぎをきざみ、軽く炒め、他のAの材料を混ぜ合わせ、①のゴーヤーにギュッと詰める。
③②のゴーヤーの肉の面に軽くでんぷんをはたき、油を入れて熱したフライパンで焼き色をつける。
④両面焼き色がついたら、水を大さじ3～4杯入れ、火を弱めて蓋をし4～5分蒸し焼きにする。
⑤フライパンの水が少なくなったら醤油小さじ2、みりん小さじ2をフライパンに入れ煮からめる。
⑥皿に盛る。（ミニトマトは調味料を入れるタイミングで入れました。食べやすく味がなじんで旨味が増します）

♥　日差しを遮ることで冷房のエネルギー節約と、見た目も涼やかな癒し効果で、グリーンカーテンが近年人気です。適した植物は様々ありますが南国出身で丈夫、収穫量も多いゴーヤーは中でも横綱級。ビタミンCが豊富で独特な苦みが美味しい夏野菜ですね。定番はゴーヤーチャンプルですが、たまにはゴーヤーの肉詰めなどいかがでしょうか？

（栄養部　管理栄養士　井尻　玲子）

耳寄り情報！

ホームページでも健康レシピを掲載しています！
横浜の名店シェフと市民病院がコラボして、美味しくてヘルシーなメニューを開発しました。あわせて栄養士のアドバイスとシェフのコラムも掲載しています。
是非ご覧ください。
アクセス方法：http://yokohama-shiminhosp.jp/introduction/recipe.html
もしくは、「横浜市立市民病院」→「病院のご紹介」→「健康レシピ」

病院長コラム

病院長 石原　淳

平成27年度最初の「こころ」をお読みいただきありがとうございます。

市民の皆様に支援していただき、当院は平成32年度の新病院開院に向けて現在基本設計を進めております。新市民病院は、高度急性期医療を中心に救急にもより力を注ぎ、また災害拠点病院としても市民の期待に沿う病院を目指しています。進捗状況は「こころ」の紙面やホームページ等でご報告させていただきます。

平成27年度の取組として、患者総合サポートセンターを開設しました。これまでの患者総合相談室の機能に加え、患者さんの入院前面談や病床管理機能を加えた組織で、入院前から退院後の生活支援まで患者さんやご家族を総合的にサポートいたします。また、当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されていますが、本年度から「がんセンター」として組織化し、総合病院の強みを生かした予防・検診・集学的医療の推進を目指します。今後の紙面で改めてご紹介いたします。

横浜市立市民病院

診療受付　月曜日から金曜日（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休診）
○新患の方　午前8：30～11：00（診療開始8：45）
○再診の方　午前7：30～11：00（診療開始8：45）
※市民病院は原則、初診紹介制となっております。他の医療機関からの紹介状をお持ちください。

〒240-8555 横浜市保土ケ谷区岡沢町56番地　☎045-331-1961(代)
編集発行：横浜市立市民病院　広報委員会

ER 救命救急センターへの受入について
○平日日中
原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。
○夜間・休日
必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。